

手遅れになるまえに相談を!

専門家が秘密厳守で相談にのってくれます。

友だちから誘われて
困っているんだ…
仲間外れに
なりたくなくて…

この間、
ノリで使ったやつ
薬物だったら
どうしよう…

毎日が辛くて、
このままだと薬物に
手を出してしまいそう…



薬物について相談できる窓口はこちら

| | | | | | |
|------|--------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|----------------------|
| 北海道 | 北海道厚生局麻薬取締部 北海道医務薬務課 北海道立精神保健福祉センター 札幌こころのセンター | ☎011-726-1000 ☎011-204-5265 ☎011-864-7121 ☎011-622-0556 | 近畿厚生局麻薬取締部神戸分室 福井県医薬食品・衛生課 福井県総合福祉相談所 滋賀県薬務課 | ☎078-391-0487 ☎0776-20-0347 ☎0776-26-4400 ☎0775-528-3634 | |
| 東北 | 東北厚生局麻薬取締部 青森県医療薬務課 青森県立精神保健福祉センター 岩手県健康国保課 岩手県精神保健福祉センター 宮城県薬務課 宮城県精神保健福祉センター 仙台市精神保健福祉総合センター 秋田県医務薬務課 | ☎017-787-3951 ☎017-734-9289 ☎019-629-5467 ☎019-629-9617 ☎022-211-2653 ☎0229-23-0021 ☎022-265-2191 ☎018-860-1407 | 中国四国厚生局麻薬取締部 福井県総合福祉相談所 滋賀県薬務課 滋賀県立精神保健福祉センター 京都府薬務課 京都府精神保健福祉総合センター 京都府こころの健康増進センター 大阪府薬務課 大阪府こころの健康総合センター 大阪府こころの健康センター 堺市こころの健康センター 兵庫県薬務課 兵庫県精神保健福祉センター 神戸市精神保健福祉センター 奈良県薬務課 奈良県精神保健福祉センター 和歌山県薬務課 和歌山県精神保健福祉センター | ☎0776-26-4400 ☎0775-528-3634 ☎077-567-5010 ☎075-414-4790 ☎075-641-1810 ☎075-314-0355 ☎06-6941-9078 ☎06-6691-2811 ☎06-6922-8520 ☎072-245-9192 ☎078-362-3270 ☎078-252-4980 ☎078-371-1900 ☎0742-27-8664 ☎0744-47-2251 ☎073-441-2663 ☎073-435-5194 | |
| 関東信越 | 関東信越厚生局麻薬取締部横浜分室 茨城県薬務課 茨城県精神保健福祉センター 栃木県薬務課 栃木県精神保健福祉センター 群馬県薬務課 群馬県こころの健康センター 埼玉県薬務課 埼玉県立精神保健福祉センター さいたま市こころの健康センター 千葉県薬務課 千葉県精神保健福祉センター 千葉市こころの健康センター 東京都薬務課 東京都立中部総合精神保健福祉センター 東京都立多摩総合精神保健福祉センター 東京都立精神保健福祉センター 神奈川県薬務課 神奈川県精神保健福祉センター 横浜市こころの健康相談センター 川崎市精神保健福祉センター 相模原市精神保健福祉センター 新潟県感染症対策・薬務課 新潟県精神保健福祉センター 新潟市こころの健康センター 山梨県衛生薬務課 山梨県立精神保健福祉センター 長野県薬務課 長野県精神保健福祉センター | ☎045-201-0770 ☎029-301-3388 ☎029-243-2870 ☎028-623-3119 ☎028-673-8785 ☎027-226-2665 ☎027-263-1156 ☎048-830-3633 ☎048-723-3333 ☎048-762-8548 ☎043-223-2620 ☎043-263-3891 ☎043-204-1582 ☎03-5320-4505 ☎03-3302-7575 ☎042-376-1111 ☎03-3844-2210 ☎045-210-4972 ☎045-821-8822 ☎045-671-4455 ☎044-200-3195 ☎042-769-9818 ☎025-280-5187 ☎025-280-0111 ☎025-232-5560 ☎055-223-1491 ☎055-254-8644 ☎026-235-7159 ☎026-266-0280 | 四国 | 九州 | |
| 東海北陸 | 東海北陸厚生局麻薬取締部 富山県くすり政策課 富山県心の健康センター 石川県薬務課 石川県こころの健康センター 岐阜県薬務水道課 岐阜県精神保健福祉センター 静岡県薬務課 静岡県精神保健福祉センター 静岡市こころの健康センター 浜松市精神保健福祉センター 愛知県医薬安全課 愛知県精神保健福祉センター 名古屋市精神保健福祉センター 三重県薬務課 三重県こころの健康センター | ☎052-961-7000 ☎076-444-3234 ☎076-428-1511 ☎076-225-1442 ☎076-238-5761 ☎058-272-8285 ☎058-231-9724 ☎054-221-2413 ☎054-286-9245 ☎054-262-3011 ☎053-457-2709 ☎052-954-6305 ☎052-962-5377 ☎052-483-3022 ☎059-224-2330 ☎059-223-5241 | 九州 | 沖縄 | |
| 近畿 | 近畿厚生局麻薬取締部 | ☎06-6949-3779 | 九州厚生局麻薬取締部小倉分室 福岡県薬務課 福岡県精神保健福祉センター 福岡市精神保健福祉センター 北九州市立精神保健福祉センター 佐賀県薬務課 佐賀県精神保健福祉センター 長崎県薬務行政室 長崎県こども・女性・障害者支援センター 熊本県薬務衛生課 熊本県精神保健福祉センター 熊本市こころの健康センター 大分県薬務室 大分県こころからの相談支援センター 宮崎県薬務対策課 宮崎県精神保健福祉センター 鹿児島県薬務課 鹿児島県精神保健福祉センター 九州厚生局沖縄麻薬取締支所 沖縄県衛生薬務課薬務班 沖縄県立総合精神保健福祉センター | ☎093-591-3561 ☎092-643-3287 ☎092-582-7500 ☎092-737-8825 ☎093-522-8729 ☎0952-25-7082 ☎0952-73-5060 ☎095-895-2469 ☎095-846-5115 ☎096-333-2242 ☎096-386-1166 ☎096-362-8100 ☎097-506-2650 ☎097-541-5276 ☎0985-26-7060 ☎0985-27-5663 ☎099-286-2804 ☎099-218-4755 ☎098-854-0999 ☎098-866-2055 ☎098-888-1443 | ●全国各保健所 ●各都道府県警察署 |

学生のみなさんへ

薬物大麻の誤解と危険!

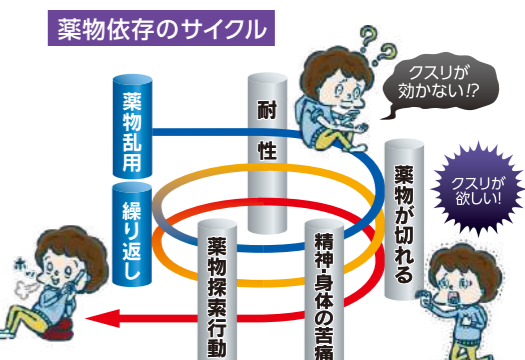


薬物は脳にダメージを与えます。

私たちの脳は、すごいスピードで情報を処理し、心と身体をコントロールする優れた仕組みを持っています。しかし、薬物を乱用すると脳の仕組みにダメージを与え、乱用が続けられるなかで様々な障害を引き起こします。そして、一度ダメージを与えられた脳は、薬物を使う前の状態には戻らなくなってしまいます。

薬物はやめられなくなるから危険!

薬物は乱用を続けると「耐性」ができて同じ量では効かなくなり、使用量が増えていきます。また「依存性」によって、自分の意志だけではやめたくてもやめられなくなってしまいます。薬物をやめ、通常の社会生活をするまで回復するためには、生涯にわたって適切な治療や周囲のサポートが必要になります。

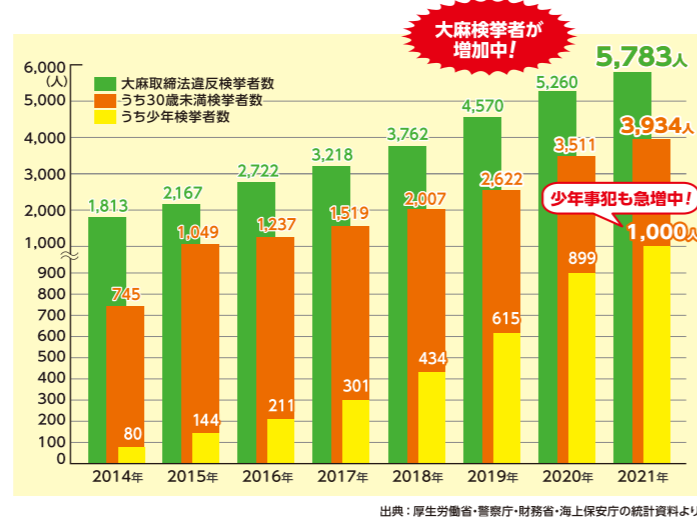


いま、危険度が増しているのは大麻です!

若者の検挙者が急増中!

ここ数年、大麻による検挙者が急増しています。2021年には大麻の検挙者数は過去最多の5,783人となり、そのうち約68%は30歳未満の若者でした。なかでも急増しているのが少年で、2021年には7年前の12倍以上となる1,000人が検挙されています。

その原因の一つとしてインターネット等に氾濫している「大麻は身体への悪影響がない」などの間違った知識や情報が影響していることが考えられており、注意が必要な状況です。



大麻のこと甘く見てはいませんか?

法務省が発表した全国の覚醒剤取締法違反による受刑者を対象者とした調査によると、対象者が最初に乱用した薬物を、調査した時の年齢層別にみた結果、30歳以上では年齢層が上がるにつれて覚醒剤が増えている一方、30歳未満の者では大麻の割合が最も多くなっているという結果でした。

軽い気持ちで大麻に手を出したら覚醒剤等の薬物にまで手を出していた、ということにもなりかねません。間違った情報に惑わされて軽い気持ちで大麻に手を出すのは危険です!

出典：令和2年版犯罪白書-薬物犯罪-(法務総合研究所)をもとに作成

大麻は心身への悪影響はない? → NO 有害です!

インターネット等で、「大麻は身体への悪影響がない」「依存性がない」などの誤った情報が氾濫しています。しかし、実際には大麻を乱用すると、大麻の花や葉に含まれる成分「THC(テトラヒドロカンナビノール)」が脳に作用して下図のような様々な不具合を引き起こします。特に成長期にある若者の脳に対して影響が強いことも判明しています。また、大麻はうつ病や記憶の障害を引き起こすなど、メンタルヘルスにも悪影響を与えます。間違った情報に流されず、正しい知識で判断しましょう!

| 大麻の乱用による影響 | | | 大麻の有害性 | | 大麻を長く使い続ける影響 | |
|--------------|----------------|-------------|--------------------|--------------------|-----------------|--|
| 知覚の変化 | 学習能力の低下 | 運動失調 | 精神障害 | IQ(知能指数)の低下 | 薬物依存 | |
| 時間や空間の感覚がゆがむ | 短期記憶が妨げられる | 瞬時の反応が遅れる | 統合失調症やうつ病を発症しやすくなる | 短期・長期記憶や情報処理速度が下がる | 大麻への欲求が抑えられなくなる | |

海外で合法だから大麻は安全? → NO 間違いです!

大麻について「海外では合法的な国があるから安全だ」という主張を耳にすることがあるかもしれませんが、しかし、薬物を取り巻く環境は日本と海外では大きく違います。法律などの規則はそれぞれの国の事情や背景をもとに作られているため、「海外で合法だから大麻は安全」ということではありません。

大麻の所持や使用が犯罪にならない国や地域であっても、**大麻の有害性の影響を大きく受ける未成年の所持や使用は禁じられています。**間違った主張に流されないようにしましょう!



SNSでの薬物の誘いに注意!

近年、薬物が密売買される手段として危険が拡大しているのがSNSです。SNS上では大麻を意味する隠語などが使われ、大麻などの購入を促す内容が多く投稿されています。実際に未成年の学生がSNSを通して売人から大麻を購入した事件が複数報告されており、大きな問題となっています。

SNSを通して薬物の売人と関わることは、多くの危険を伴います。もし、そのような投稿を見つけても誘いに乗らないようにしましょう。

大麻の加工品や大麻を含んだ食品に気をつけて!

大麻から成分を抽出した「大麻リキッド」や「大麻ワックス」など新しいタイプの加工品の摘発も増加しています。また、海外でお土産として売られているチョコレートやクッキー、キャンディなどの中に**大麻が含まれている**ことがあります。誤って口にして体調不良で救急搬送された事例も発生しているので十分に注意しましょう。



大麻や覚醒剤などの薬物は、持っているだけでも法律によって罰せられます。

| 大麻 | 覚醒剤 | MDMA |
|------------------|--------------------|-------------------------|
| 大麻所持・譲渡 | 覚醒剤所持・譲渡 | コカイン・MDMAなど所持・譲渡 |
| 大麻取締法 5年以下の懲役 | 覚醒剤取締法 10年以下の懲役 | 麻薬及び向精神薬取締法 7年以下の懲役 |

薬物の誘いに、きっぱりNo!と断る勇気を!

薬物を乱用するきっかけは「友人からの誘い」が多いということが報告されています。言葉で断れる場合は**勇気をもってきっぱり断ることが大切です。**でも、身近な友人から誘われた場合には「仲間外れにされるのが怖い」などの理由で、断りづらいつと感ずるかもしれません。そんな時は、とにかくその場から立ち去りましょう。**立ち去ることも勇気です。**

一人で問題を抱え込まないで、信頼できる大人や専門の窓口に相談してください。



医薬品も間違った使い方は乱用です!

医師から処方された薬や市販薬を用法・用量を守らずに過量に摂取することは、健康被害を引き起こしたり、やめられなくなったりするおそれがあります。また、処方された薬を他人に譲ることや、偽造品などのリスクが高い海外で販売されている医薬品を安易に個人輸入することは、避けましょう。

過量服薬は健康被害を引き起こすなど大変危険です!



薬物乱用は「ダメ。ゼッタイ。」
薬物乱用防止読本

健康に
生きよう

パート36



厚生労働省 〒100-8916 東京都千代田区霞が関1-2-2 TEL:03-5253-1111(代表)

薬物乱用問題についてさらに詳しくは、厚生労働省ホームページをご参照ください。QRコードからもご覧いただけます。

厚生労働省トップページ

分野別の政策一覧
「健康・医療」「医薬品・医療機器」

施策情報「薬物乱用防止に関する情報」



厚生労働省トップページ

分野別の政策一覧
「福祉・介護」「障害者福祉」

施策情報「依存症対策」



https://www.mhlw.go.jp/seisakunitsuite/bunya/kenkou_iryuu/yakuhin/yakubuturanyou/index.html

<https://www.mhlw.go.jp/stf/seisakunitsuite/bunya/0000070789.html>

青少年のみなさんへ

薬物乱用は「ダメ。ゼッタイ。」

薬物乱用防止読本

健康に
生きよう

パート36



厚生労働省

インデックス
INDEX

はじめに

【マンガ】身近に潜む薬物乱用 1

1 薬物乱用が心身にもたらす影響

1-1 脳・身体への影響 2

1-2 薬物を乱用するとどうなるの? 3

2 薬物についての基礎知識

2-1 薬物乱用とは? 4

2-2 乱用される薬物とは? 5

2-3 大麻 6

2-4 覚醒剤 8

2-5 麻薬 (MDMA、コカイン、LSD) 9

2-6 危険ドラッグ 9

2-7 耐性・依存/フラッシュバック 10

3 薬物乱用が社会にもたらす影響

【マンガ】周囲を巻き込む薬物乱用 12

3-1 薬物の誘いを断れないと...? 13

3-2 薬物乱用による事件 14

3-3 薬物乱用の法規則/海外の事情 15

4 誘われた時、どう断る?

4-1 薬物乱用のきっかけ 16

4-2 大麻の誘い、乱用経験が急増中 17

4-3 断るコツ 18

4-4 大切な自分を守るためのポイント 19

4-5 考えてみよう 20

4-6 相談してみよう 21

5 世界の薬物乱用対策

5-1 世界各国の薬物犯罪への罰則 22

5-2 海外の事情と海外旅行での注意 23

6 日本の薬物乱用防止活動

6-1 厚生労働省の啓発活動 24

6-2 相談窓口一覧 25

この本の主な
登場人物



マサル ミカ
もうすぐ卒業する高校3年生。以前はサッカー部の部員とマネージャーとして、ユウキ先輩と親しい関係だったが...



ユウキ先輩
大学2年生。高校時代はサッカー部でマサルやミカの先輩だった。大学生になって交友関係が広がったようだ...



クスリの妖精
薬物乱用を防ぐために現れた不思議な妖精。

はじめに

【マンガ】身近に潜む薬物乱用

...よろしくな

あつ ユウキ先輩?

お久しぶりです。いまは大学の友達ですか...?

...じゃあ、また今度...

あつ、いや...最近クラブで知り合った友達なんだけど...

へ〜、なんだか少し怖そうな人だったけれど...

そうだ!

いい時に会ったよ。友達からいいモノをもらったんだけど一緒に試してみないか?

いいモノって何ですか?

使うと気分が良くなる野菜なんだってさ。気に入ったらまたくれるみたいだし...

えっ!? それって怪しいものなんじゃ...!?

いや、体に害はないって言ってたよ。試しに一回やってみて、嫌ならやめればいいしさ...

ん? なんだ

うわっ! なにか出てきたっ...

騙されちゃダメ! それは違法な薬物だよ!!

ぼくはクスリの妖精。薬物のことを皆に伝えにきたんだよ!

ええっ!?

1 薬物乱用が心身にもたらす影響

1-1. 脳・身体への影響

薬物を乱用すると、心身にこんな影響が出るんだ



脳への影響

私たちの脳は、すごいスピードで情報を処理し、心と身体をコントロールする優れた仕組みを持っています。しかし、薬物を乱用すると脳の仕組みにダメージを与え、乱用が続けられるなかで様々な障害を引き起こします。

そして、一度ダメージを与えられた脳は、薬物を使う前の状態には戻らなくなってしまいます。特に成長期にある青少年の脳は成人に比べて影響を受けやすいため、注意が必要です。

主な脳への障害



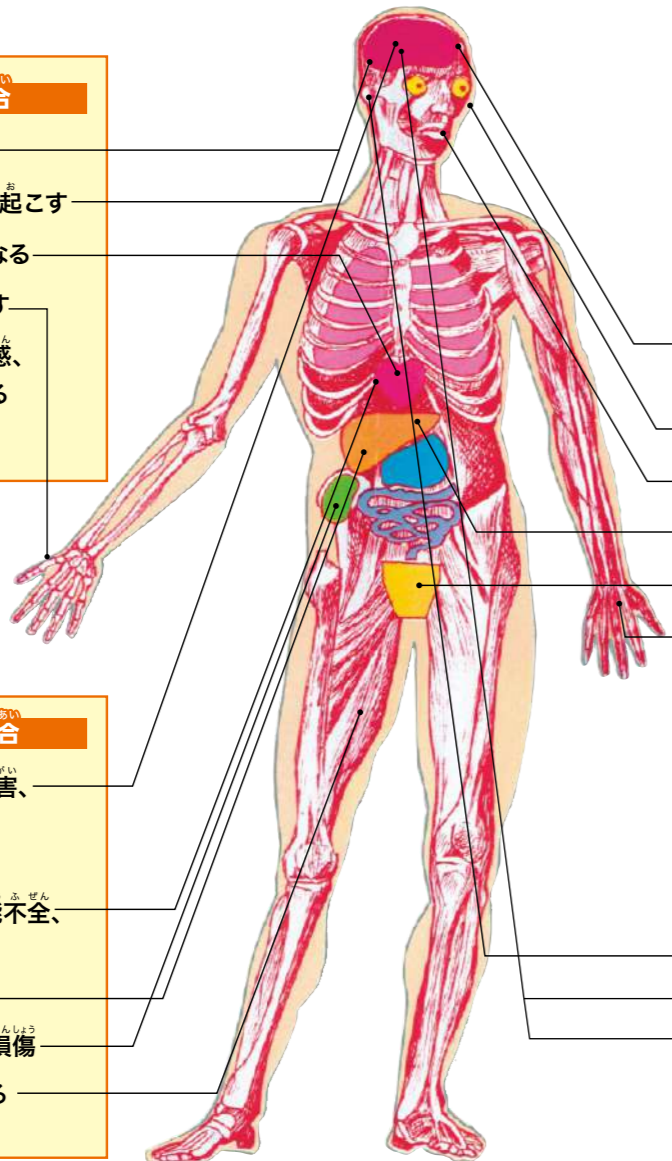
身体への影響

覚醒剤の場合

幻覚・妄想
フラッシュバックを起こす
血圧が異常に高くなる
静脈に炎症を起こす
強い疲労感や倦怠感、脱力感におそわれる
依存性が高い

MDMAの場合

混乱、憂鬱、睡眠障害、脳卒中、けいれん、記憶障害になる
高血圧、心臓の機能不全、心臓発作
肝臓の機能不全
腎臓と心臓血管の損傷
悪性の高体温による筋肉の著しい障害



シンナーの場合

記憶力の低下、幻覚、妄想、認知障害
視力の低下・失明
歯がぼろぼろになる
肝臓の一部が死ぬ
生殖器の萎縮
手足のふるえ、しびれ、麻痺
成長期の青少年には、背が伸びない、筋肉がおとろえる、体重が減るなどの症状が現れ、脳や身体の発育をさまたげる大きな原因となります。

大麻(マリファナ)の場合

知覚(聴覚・触覚)の変容
短期記憶の障害
運動失調と判断力の障害
心臓血管系、自律神経系への悪影響

1-2. 薬物を乱用するとどうなるの?

薬物を乱用するとどうなるの?

1 幻覚



2 運動機能の低下



3 内臓機能の低下



4 感情のコントロールがきかなくなる



2 薬物についての基礎知識

2-1. 薬物乱用とは?

薬物乱用とは

薬物乱用 = 決められたルールを守らないで、薬物を使用すること

1 違法な薬物の場合

決められたルール

法律

- 【例】
- 大麻取締法
 - 覚醒剤取締法
 - 麻薬及び向精神薬取締法
 - 医薬品医療機器等法
 - あへん法
 - 毒物及び劇物取締法

2 医薬品の場合

決められたルール

用法・用量

- 【例】
- 1回量:成人(15歳以上)2錠
 - 1日服用回数:2回を限度とする
 - 15歳未満:服用しないこと
 - 服用間隔は6時間空けてください



青少年への大きな悪影響

薬物乱用とは、「決められたルールを守らないで、薬物を使用すること」です。薬物は上記のような法律によって厳しく取り締まられています。また、医薬品についても「病気や傷の治療に使う」といった本来の目的以外に使えば薬物乱用となります。

それでは、薬物乱用はなぜ危険なのでしょう？ それは、人間が生活をしていくために最も大切な「脳」に悪影響を与えるからです。

私たちの脳は20歳頃まで成長するといわれ、特に小学生、中学生、高校生は、心身ともに急速に発達する時期です。家庭や学校で知識や物事の考え方を学び、自分らしさを発見していく大切なこの時期に薬物を乱用すると、「感情のコントロールがきかなくなる」「意欲がなくなる」「怒りっぽくなる」など、心身の発達が損なわれてしまい、家族や友達とのコミュニケーションもできなくなってしまうことがあります。

影響は自分の周囲にまで

さらに薬物を乱用し続けると、精神障害を発症し依存症を引き起こす原因になります。一度、ダメージを受けた脳は、決して元の状態には戻りません。薬物をやめて通常の社会生活をするためには、生涯にわたって適切な治療や周囲のサポートが必要になります。

また、薬物乱用は、薬物を手に入れるために窃盗、強盗、売春、さらには殺人などの犯罪を誘発し、社会秩序の破壊に繋がります。さらに、犯罪により逮捕されると、家族や友人などとの関係が崩れ、家庭の崩壊などの要因にもなります。

薬物乱用は社会にも大きな損失を招くため、「一回でも乱用してはいけない」という意識を常に持つことが大切です。



2-2. 乱用される薬物とは?

乱用される薬物とは

乱用される薬物には、大麻や覚醒剤はもちろん、「合法」と称してネットで売られている「ハーブ類」なども、違法な薬物を含んでいる可能性があります。いずれの薬物も脳に作用して、心身に大きな影響をもたらす危険があることを理解しておきましょう。



大麻
大麻草という植物由来の薬物で、幻覚作用や記憶障害、学習能力の低下などをもたらします。近年は、新しいタイプの大麻製品や大麻が含まれる食品も登場しており、特に注意が必要です。



覚醒剤
日本で最も検挙者数の多い薬物。神経に作用して異常な興奮状態をもたらし、精神依存も強いので非常に危険です。



MDMA
知覚を変化させ幻覚が現れることがあります。大量摂取すると高体温になり、死に至ることもあります。



コカイン
神経を興奮させる作用があり、幻覚などの症状や、大量摂取すると呼吸困難で死に至ることもあります。



危険ドラッグ
麻薬などに類似した有害で危険な物質を含んでおり、呼吸困難や異常行動を起こしたり、死に至ることもあります。



有機溶剤 (シンナー・トルエン)
情緒不安定・無気力となり、幻覚や妄想が現れて薬物精神病になります。大量摂取すると呼吸困難で死に至ることもあります。

違法な薬物はいろいろな「隠語」で呼ばれています。

- 大麻** 野菜/クサ/リキッド/ハッパ/グラス/チョコ
- 覚醒剤** アイス/氷/シャブ/エス/スピード
- MDMA** バツ(「×」[罰])/タマ(「弾」[玉])/エクスタシー
- ヘロイン** ペー/チャイナホワイト/ジャンク
- コカイン** チャリ/自転車/チャーリー/コーク/スノウ/クラック
- 有機溶剤 (シンナー・トルエン)** アンパン



なまえに
まど
惑われないように
気をつけて!

医薬品も間違った使い方は乱用です!



医師から処方された薬や市販薬を用法・用量を守らずに過量に摂取することは、健康被害を引き起こしたり、やめられなくなったりするおそれがあります。また、処方された薬を他人に譲ることや、偽造品などのリスクが高い海外で販売されている医薬品を安易に個人輸入することは、避けましょう。

過量服薬は健康被害を引き起こすなど大変危険です!

2 薬物についての基礎知識

2-3. 大麻



大麻とは? (大麻の乱用による影響)

大麻とはアサ科の一年草です。茎から丈夫な繊維が取れるので、昔から栽培・利用されてきました(注)。一方で大麻の花や葉には「THC(テトラヒドロカンナビノール)」という脳に作用する成分が含まれており、大麻を乱用すると下図のような様々な影響があります。

インターネット等では「大麻は身体への悪影響がない」「依存性がない」などの誤った情報が氾濫していますが、大麻の有害性は特に成長期にある若者の脳に対して影響が大きいことも判明しています。また、**大麻はうつ病や記憶の障害を引き起こすなど、メンタルヘルスにも悪影響を与えます。**間違った情報に流されず、正しい知識で判断しましょう!

大麻の乱用による影響

知覚の変化
時間や空間の感覚がゆがむ

学習能力の低下
短期記憶が妨げられる

運動失調
瞬時の反応が遅れる

精神障害
統合失調症やうつ病を発症しやすくなる

大麻の有害性

IQ(知能指数)の低下
短期・長期記憶や情報処理速度が下がる

薬物依存
大麻への欲求が抑えられなくなる

(注) 麻には、亜麻(リネン)、苧麻(ラミー)、黄麻(ジュート)、洋麻(ケナフ)、マニラ麻、サイザル麻などたくさんの種類がありますが、これらは大麻とはまったく別の種類の植物です。このうち、衣料に広く使用されるのは亜麻、苧麻であり、麻袋などに使用されるのは黄麻、洋麻です。



大麻草



大麻パッズ



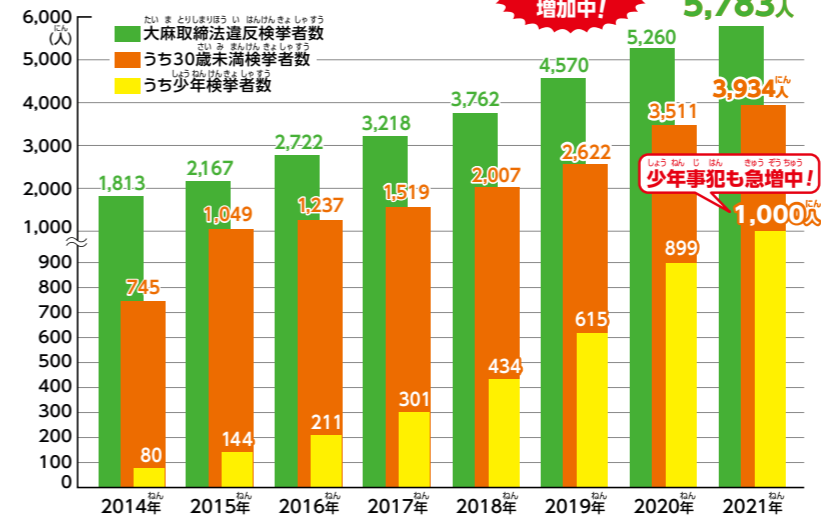
大麻(マリファナ)

大麻で、若者の検挙者が急増中!

ここ数年、大麻による検挙者が急増しています。2021年には大麻の検挙者数は過去最多の5,783人となり、そのうち約68%は30歳未満の若者でした。なかでも急増しているのが20歳未満の若者で、2021年には7年前の12倍以上となる1,000人が検挙されています。

その原因の一つとしてインターネット等に氾濫している大麻についての間違った知識や情報が影響していることが考えられており、注意が必要な状況です。

【大麻取締法違反検挙人員の推移】



出典: 厚生労働省・警察庁・財務省・海上保安庁の統計資料より

大麻のこと甘く見てはいませんか?

法務省が発表した全国の覚醒剤取締法違反による受刑者を対象者とした調査によると、対象者が最初に乱用した薬物を、調査した時の年齢層別にみた結果、30歳以上では年齢層が上がるにつれて覚醒剤が増えている一方、30歳未満の者では大麻の割合が最も多くなっているという結果でした。

軽い気持ちで大麻に手を出したら覚醒剤等の薬物にまで手を出していた、ということにもなりかねません。間違った情報に惑わされて軽い気持ちで大麻に手を出すのは危険です!

出典: 令和2年版犯罪白書-薬物犯罪-(法務総合研究所)をもとに作成

大麻の加工品や大麻を含んだ食品に気をつけて!

大麻から成分を抽出した「大麻リキッド」や「大麻ワックス」など新しいタイプの加工品の摘発も増加しています。また、海外でお土産として売られているチョコレートやクッキー、キャンディなどの中に大麻が含まれていることがあります。誤って口にすると体調不良で救急搬送された事例も発生しているので十分に注意しましょう。



2 薬物についての基礎知識

2-4. 覚醒剤

覚醒剤とは？

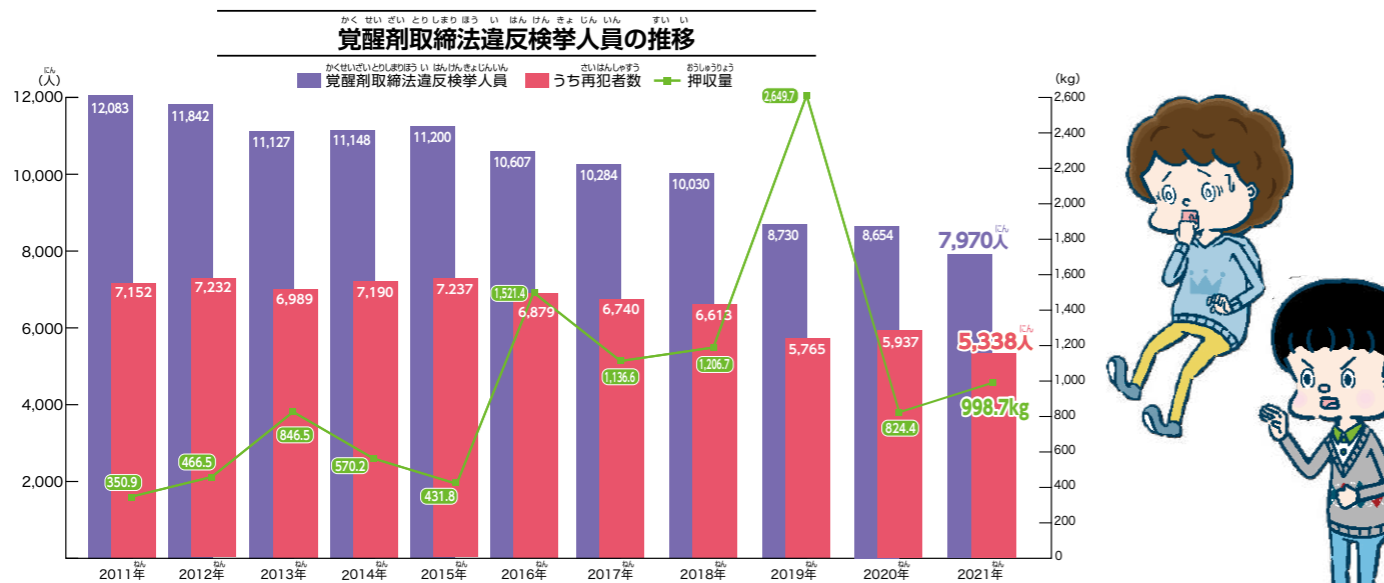


覚醒剤は神経を興奮させる作用があり、白色やクリーム色の粉末、無色透明の結晶の薬物です。覚醒剤を乱用すると、眠気や疲労感がなくなり、頭が冴えたような状態になりますが、それは一時的なものであり、効果が切れると激しい脱力感や倦怠感に襲われます。また、幻覚や妄想が現れて中毒性精神病になりやすく、大量に摂取すると死に至ることがあります。さらに、乱用をやめてもフラッシュバック（再燃）と呼ばれる、乱用時に体験した幻覚や妄想の出現に悩まされます。

覚醒剤事犯の特徴は？

覚醒剤は日本で最も多く乱用されている薬物です。検挙者の人数は減少傾向にあり、押収量も2019年に過去最多を記録したあと2020年では大幅に減少しました。しかし、その一方で再犯者数は引き続き高水準で推移しており、注意が必要な状況です。

このように再犯者の比率が高いことが覚醒剤事犯の特徴であり、2021年では全体の66%以上を占める高水準となりました。依存性の高い覚醒剤は、「最初の一回を使わない」ことが何より大切です。



出典：厚生労働省・警察庁・財務省・海上保安庁の統計資料より

2-5. 麻薬 (MDMA、コカイン、LSD)

麻薬 (MDMA、コカイン、LSD) とは？

近年、MDMAやコカイン、LSDといった麻薬の乱用の拡大も危惧されています。

2019年から、MDMAの押収量は急増しており、注意が必要な状況です。MDMAはカラフルな色や様々な模様の刻印が特徴で、一見するとラムネ菓子のようなものが多く、カプセル型のものもあります。大量に摂取すると高体温になり、死に至ることもあります。



コカインは神経を興奮させる作用があり、幻覚などの症状や、大量に摂取すると死に至ることもあります。



LSDは強力な幻覚剤で、見た目もカラフルでポップなものが多く、微量でも幻覚症状が現れ、精神錯乱や異常興奮になることもあります。



2-6. 危険ドラッグ

危険ドラッグとは？

危険ドラッグとは、麻薬などに似た化学構造を持つ有害で危険な物質を使用して、「ハーブ」「アロマオイル」「バスソルト」などのうたい文句で販売されている薬物です。2014年の法改正によって「指定薬物」に指定され、規制が強化されました。今は潜在化してインターネット等で「ハーブ」などに見せかけて販売されています。これらは、一般に販売されている「ハーブ」などの製品とはまったくの別物で「合法」でも「安全」でもありません。

危険ドラッグは、身体にどんな影響を及ぼすのかわからない危険なものがほとんどで、呼吸困難や異常行動を起こしたり、死に至ることもあります。また、乱用による健康被害だけでなく、傷害事件や交通事故等で他人を巻き込む事例が多数報告されています。引き続き注意が必要です！



2 薬物についての基礎知識

2-7. 耐性・依存/フラッシュバック

耐性・依存

1 耐性

薬物を乱用し続けるうちに、「耐性」が付き同じ量では効かなくなり、無意識のうちに摂取量が増えてしまいます。

耐性とは、薬物を繰り返し使用することによって、最初は効果があった薬物が、同じ効果を得るために使用量を増加しなくてはならなくなる現象です。乱用を続けると、次第に薬物の効果が薄れてきてしまい、同じ量では効かなくなり、摂取量や回数がどんどん増えていくという悪循環に陥ってしまいます。そうするとさらに依存は深まり、脳や身体へのダメージもより深刻になっていきます。



2 依存

薬物を乱用すると、やめたくてもやめられない依存状態に陥ります。

乱用される薬物は、すべて脳の「報酬系」と呼ばれる部位に影響を与えます。この報酬系という部位は「ドーパミン」という「喜び、快感、動機付け、運動機能」などに関係する物質を分泌する機能を持っています。乱用される薬物は主にこの報酬系を刺激して、強制的にドーパミンを分泌させてしまいます。

報酬系が繰り返し刺激されると脳の回路に変化が生じて、薬物乱用をコントロールする力が失われていきます。さらには、効果が切れることによって起こるひどい不快感や苦痛から逃れるために乱用を繰り返し、やめたくても自分の意志ではやめられない「依存」状態に陥ってしまうのです。

薬物を乱用し、その効果が切れると渴望が湧いて薬物探索行動を起こします。そして、「耐性」がついて使用量や回数が増えていく悪循環に陥ります。薬物乱用の怖さはこのような依存の形成にあります。一度変化してしまった脳は元には戻らないため、依存から回復するためには長い年月がかかります。



薬物依存になると、自分の意志ではやめられなくなってしまふんだ...



※回復には適切な治療や支援が必要です。

依存の種類

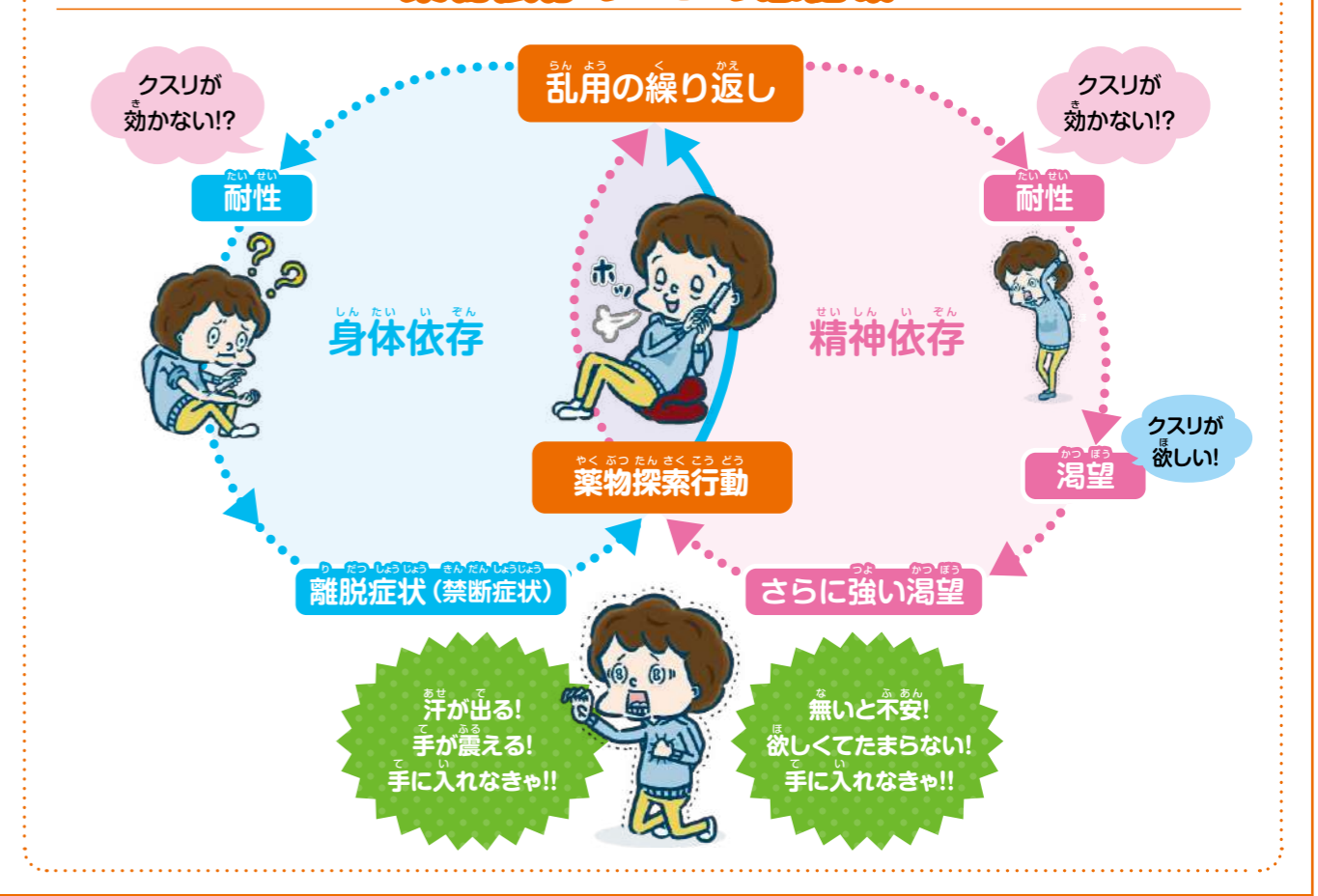
薬物依存には身体に異常が起こる**身体依存**と、薬物が欲しくてたまらない気持ちが抑えられなくなる**精神依存**の二種類があります。

身体依存は、薬物を繰り返し使用すると、いつの間にか、体の中には薬物がいつもあるものだという身体に変化し、薬物が使用できなくなると、汗が出る・手の震え・幻覚や意識障害などの**離脱症状**が現れる状態です。

一方、**精神依存**は、薬物を使わないと、物足りない・不安になる・薬物なしではいられなくなるといった、薬物が欲しいという強い欲求である**渴望**が現れる状態です。

身体依存や**精神依存**になると、自分の意志では薬物の使用がコントロールできなくなり、**離脱症状**から逃れるため、薬物に対する**渴望**のために、何としてでも薬物を手に入れようとする**薬物探索行動**をするようになります。

薬物依存の2つの悪循環



フラッシュバックとは?

薬物乱用により脳の回路に変化が生じ、後遺症が残る場合があります。ひとたび幻覚・妄想などの精神病の症状が生じると、治療によって表面上は回復しているかにも見えても、これらの症状が再び起こりやすくなる下地が残ってしまうのです。

乱用をやめ、普通の生活に戻ったとしても、ささいなストレスや飲酒などによって突然、幻覚・妄想などが再燃することがあります。これを**フラッシュバック(再燃)現象**といいます。

